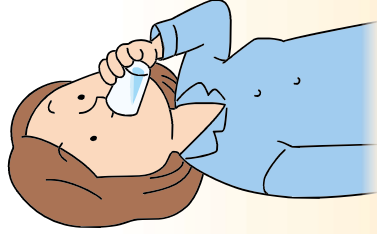


# リベルサス®錠の効果を発揮させるためには正しい服用と保管が大切です

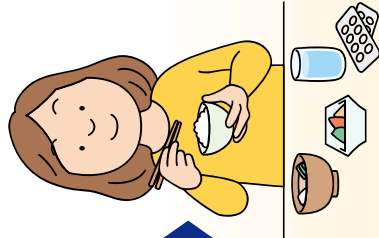
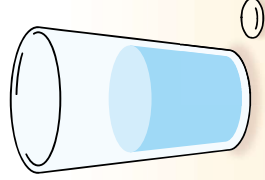
## リベルサス®の服用方法



空腹時(1日の最初の飲食の前)に服用してください。  
起床時がおすすめです。

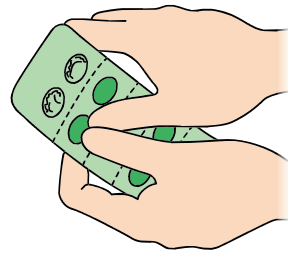


1錠をコップ約半分の水(約120mL以下)とともに服用してください。

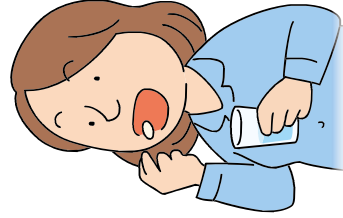


服用後に、飲み物を飲んだり、食事をしたり、他のお薬を服用する場合は、少なくとも**服用後30分経って**からにしてください。

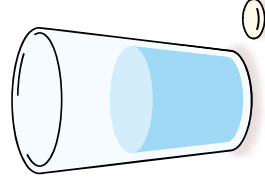
## 服用時の注意点



リベルサス®は湿気と光の影響を受けやすいお薬です。服用の直前に錠剤をシートから取り出してください。



錠剤を割ったり、砕いたり、噛んだりせずに、丸ごと飲み込んでください。



お茶、コーヒー、あるいは服薬ゼリーなどでの服用はせず、約120mL以下の水で服用してください。

# リベルサス®錠の主な副作用

# リベルサス®錠は「GLP-1」というホルモんに似た作用をもつお薬です

## 消化器症状

胃の不快感、便秘、下痢などの消化器症状が起ることがあります。

- 症状が長く続く場合には主治医に相談してください。
- 嘔吐を伴う持続的な激しい腹痛が起こった時は、直ちに服用をやめて、速やかに主治医の診断を受けてください。

### 主な消化器症状

- 便秘
- お腹が張る
- 下痢
- むかむかする

## 低血糖

低血糖症状が起こることがあります。他の糖尿病薬(SU薬やインスリン製剤など)を使用している場合は特に注意が必要です。

- 低血糖症状にそなえて、砂糖やブドウ糖の入った食べ物や飲み物を携帯しましょう。
- 低血糖症状があらわれた場合は、それらを摂取しましょう。(α-グルコシダーゼ阻害薬を併用している場合は、砂糖では低血糖症状が改善しにくいいため、ブドウ糖を含む食べ物や飲み物を摂取しましょう)

### 主な低血糖症状

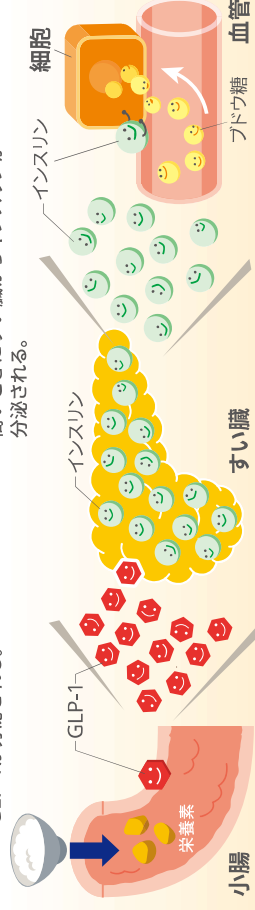
- ふるえ
- どろろ
- 冷や汗
- 空腹感

## GLP-1

GLP-1は、もともと私たちのからだにあるホルモンで、食事をとると小腸から分泌されます。血糖値が高いときに、すい臓からインスリンを出すよう働きかけます。

1 食事後、小腸に栄養素が届き、GLP-1が分泌される。

3 GLP-1の働きかけにより、血糖値が高いときにすい臓からインスリンが分泌される。



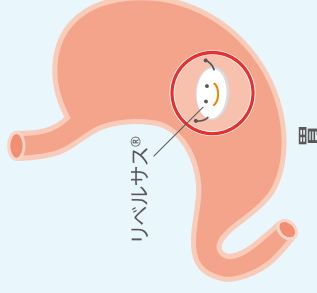
2 GLP-1がすい臓にインスリンを分泌するよう働きかける。

4 インスリンの働きによりブドウ糖は細胞に取り込まれ、血糖値が下がる。そしてエネルギーとして利用される。

## リベルサス®

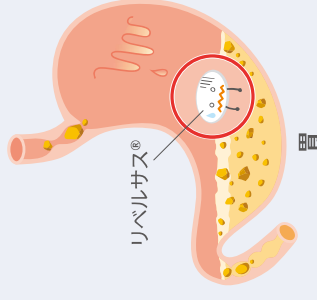
リベルサス®はGLP-1と似た作用を持ち、血糖値が高いときにすい臓からインスリンを出すよう働きかけ、血糖値を下げます。リベルサス®の効果を発揮するためには、服用前後に胃の中を空っぽにしておくことが大切です。

### 空腹時にリベルサス®を服用した場合



リベルサス®を空腹の状態でも服用することで、胃から有効成分が吸収され、効果が発揮されます。

### リベルサス®の服用前後に飲食をした場合



胃の中に食べ物や飲み物があると、有効成分が吸収されず、リベルサス®の本来の効果が発揮されません。